

岡本眸の春の句

霞むには青すぎて船動き出す  
野蒜噛み月日いよいよ飛ぶごとし  
踏青や遠さざなみの芯に鴨  
春の湖見えざる雨のゆきわたり  
烏雲に入る思ふとは秘すること

松岡隆子 抽